

日本一長い河川は 信濃川か利根川か

流域面積が広いほど、
その地域に大きな影響を
及ぼす重要な河川だといえる。

日 本一長い河川は信濃川である。山梨、埼玉、長野の3県の県境にそびえる甲武信岳を発し、そこから長野の北東部を流れて越後平野をゆったりと流れながら、新潟市から日本海に注ぐ全長367kmの一級河川だ。だが、これはあくまでも信濃川水系の本流の長さで、信濃川水系の全長となると、これとは比較にならないほど長いのだ。信濃川水系には880本の支流があり、それらを合わせた総延長距離は5014kmにもなる。これは日本列島を一往復するほどの長さである。

ところが、信濃川水系より長い一級水系がある。利根川の本流の長さは322kmで、信濃川より45km短く、支流の数も819本で信濃川水系におよばないが、利根川水系の総延長距離は6838km。水系としては、信濃川より利根川の方が長いのである。利根川水系には鬼怒川や渡良瀬川、小貝川などの大きな支流があるからだ。

全国には109もの一級水系があるが、その全長は8万7573kmにもなる。一級水系だけでも、地球を軽く

2周してしまう長さなのである。日本の国土の狭さからみれば、驚異的な長さだといえる。ところが、一級河川がまったく流れていない県もある。沖縄県だ。沖縄本島でも、東西の幅が10kmそこそこだから、大きな河川が流れていないのも無理はない。海に面しているのに、一級河川が一筋も海に注いでいない県もある。内陸県の栃木、群馬、埼玉、山梨、長野、岐阜、滋賀、奈良の8県に河口がないのは当然のことだが、太平洋に面している岩手県と福島県には、一級水系の河口がないのだ。

一級水系と二級水系の違いは長さではなく、国民経済に及ぼす影響の大きさだといえる。和歌山県を流れている日高川のように、長さが100km以上もある二級河川がある一方で、長崎県の諫早湾に注いでいる本明川ほんみょうは、長さがわずか28kmしかないのに、一級河川に指定されている。岩手県の三陸海岸に注ぐ閉伊川へい(82km)も、福島県のいわき市から太平洋に注ぐ夏井川(67km)も、本明川よりはるかに長いのに二級河川である。

河川の長さ

河川の長さランキング

順位	河川名	本流の長さ (km)
1	信濃川	367
2	利根川	322
3	石狩川	268
4	天塩川	256
5	北上川	249
6	阿武隈川	239
7	最上川	229
8	木曾川	229
9	天竜川	213
10	阿賀野川	210
11	四万十川	196
12	江の川	194
13	吉野川	194
14	熊野川	183
15	荒川	173
16	大井川	168
17	十勝川	156
18	釧路川	154
19	斐伊川	153
20	那珂川	150

(国土交通省河川局)

河川の流域面積ランキング

順位	河川名	流域面積 (km ²)
1	利根川	1万6840
2	石狩川	1万4330
3	信濃川	1万1900
4	北上川	1万0150
5	木曾川	9100
6	十勝川	9010
7	淀川	8240
8	阿賀野川	7710
9	最上川	7040
10	天塩川	5590
11	阿武隈川	5400
12	天竜川	5090
13	雄物川	4710
14	米代川	4100
15	富士川	3990
16	江の川	3900
17	吉野川	3750
18	那珂川	3270
19	荒川	2940
20	九頭竜川	2930



利根川が日本一の大河だといわれるのは、流域面積が日本一広いから。

